

生物部

私たちは基本的な活動として、生物の飼育・研究を行っています。米原高校周辺は自然が豊かなため、多くの生物が生息しており、対象には事欠きません。放課後は野外での活動も行えます。

研究テーマは部員の興味関心に沿って、毎年様々ですが、3月に行う「ヤマトサンショウウオの卵のう調査」は継続しています。「ヤマトサンショウウオ」とは里山の代表的な生き物で、約10cm程度の有尾の両生類です。近年、開発などが進み、絶滅を危惧されていますが、本校周辺には生息地が残っており、継続調査をしています。

今までの研究テーマには、アメリカザリガニの体色変化、周辺に住む地衣類・粘菌類の種類、セイタカアワダチソウのアレロパシー効果、メダカの学習能力、ヤマトサンショウウオの卵膜の効果、ジャガイモの緑化防止などがあります。

【目標】

生物に興味と愛着をもって、飼育・研究する。

【年間行事】

6月：春季大会・学園祭

8月：県内合同研修会・ウミホタル採集

10月：研究論文作成・秋季大会

3月：ヤマトサンショウウオ卵のう調査

【部員】令和2年12月現在

1年：4人 2年：7人

【活動日時】

平日：毎日(18:00まで)

休日：なし

【活動場所】

生物教室(理数棟1階)

【令和2年度の主な成績】

・春季総文祭・開催されず

・秋季総文祭

展示発表部門「プラナリアの再生に最適な環境とは」
最優秀賞

口頭発表部門「植物は緑色光を利用する」
滋賀県科学教育研究会会長賞



文化祭で作ったT2ファージストラップ



秋季大会での発表の様子



部員集合

【部員より】

「研究」というと難しいと感じるかもしれませんが、好きなことができるから楽しいです。

勉強との両立もできるので、皆さんも生物が近くにいる生活を送ってみませんか？

生物に興味のある人は、是非、生物部へ

生物教室で待ってます。